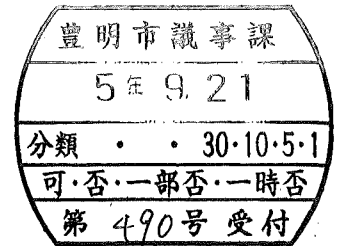


豊明市議会議長 殿



研修会・講演会等参加報告書

議員名 林 ゆきひろ

令和5年度 豊明市議会政務活動費にて下記の研修に参加しましたので報告します。

| 日付 | 研修先 | 研修項目及び成果等 |
|-----------|----------------|--|
| 令和5年8月22日 | 日進市民会館 大会議室 | <ul style="list-style-type: none"> ・決算審査のポイント ・決算資料及び健全化判断比率の見方、活用方法 ・自治体決算の特徴と課題について ・他自治体議員との情報交換 <p>※詳細は別紙報告書のとおり</p> |

(注) 別紙添付も可能とします。

(注) 本報告書は5年間公開します。

令和4年度決算学習会の報告書

林 ゆきひろ

研修項目： 2022年度決算をどう読むか
講師： 公益財団法人地方自治体総合研究所 菅原敏夫 氏
研修日時： 令和5年8月22日13時～17時
研修場所： 日進市民会館3階 大会議室
参加費： 3500円
参加自治体： 豊明市、みよし市、日進市、常滑市、碧南市、愛西市、瀬戸市

主な研修内容

13:00～15:00 菅原先生の講義

- ・2022年度決算の審査ポイント
- ・決算資料及び健全化判断比率の見方、活用方法
- ・市民決算の重要性
- ・総務省の決算速報
- ・愛知県の決算見込み

15:00～16:50 各自治体議員との意見交換

- ・各自治体の決算カード、健全化判断比率、検収調書の分析
- ・各自治体決算の特徴と課題

16:50～17:00 総括

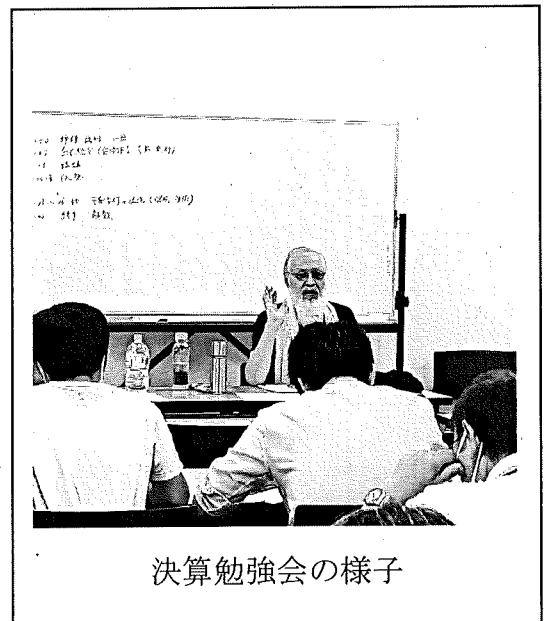
◆学んだこと

① 全般について

基本的な決算書の読み方、決算カードの見方をはじめ、2022年度（令和4年度）における自治体決算の特徴などの講義があった。

総務省の決算速報、愛知県の決算見込みなども確認しながら、今回の決算で、何を重視して審査していくかを学んだ。

また、他の自治体の決算資料と比較することで、本市の決算の特徴なども再確認できた。



決算勉強会の様子

② 2022 年決算の審査ポイント（講義）

昨今、自治体における決算審査の重要性が増している。予算の使い方によって、市民生活へ大きな影響があり、今後の予算編成にも影響を及ぼすからである。

2022 年度自治体決算では、国、県をはじめ、多くの自治体で「好決算」が見込まれている。税収を増やし、借入を減らしている自治体が多い。

「地方税収、過去最高の 45.2 兆円」「2 年連続で過去最高の税収を更新」など、決算速報値から見た報道がなされている。しかし、市民生活では負担感が増しており、依然として厳しい状態である。その理由を 2022 年度決算において、しっかり見極める必要がある。過去最高の税収増ということだが、税金がどのように使われたのか。正しく使われたのか。効果的かつ効率的に使われたのか。無駄なバラマキは良くないが、困難を抱えている人を見捨てて借金の返済や貯金積立を優先してはいけぬ。

これまで、「コロナ禍で傷んだ経済」「コロナ禍で減った税収」「コロナ禍で貧困、格差拡大」「子ども食堂が必要」と言われてきたが、はたして本当だったのか。特に前者 2 つはどうか。周囲の雰囲気や思い込みと、決算数値で見る状況との違いを認識して、決算審査に臨むべきとのことであった。

③ 決算審査のポイントと他の自治体との比較（意見交換）

「財政力指数」「実質収支比率」「実質公債比率」「将来負担比率」「経常収支比率」など数値の意味等を確認し、税収（個人市民税、法人市民税、固定資産税、たばこ税、都市計画税、配当割交付金、株式等所得割交付金など）による自治体の特徴を分析した。本市の財政力指数は、今年度 0.86 と低下し、経常収支比率は 88.3% と上昇、人件費と扶助費が増加している。一方で、個人市民税や固定資産税、都市計画税、たばこ税は増収しており、市税全体としても約 3 億 7000 万円の増収となっている。

こういった状況を踏まえた上で、現状における各自治体の課題と、今回着目している決算審査のポイント等を意見交換した。

◆所感

今回の決算勉強会により、国、県における決算状況をはじめ、周辺自治体の決算状況も学べた。

また、2022 年度決算において、注意して審査すべきことや、どういった視点で審査に臨むべきかも学ぶことができた。

勉強会後も、会派内で細かく実績報告書や監査意見書を読み込み、打ち合わせを行って、決算審査に臨みました。



他の自治体との意見交換の様子